

## 開発行為における景観形成の設計書

1	開発者の住所及び氏名	〇〇市〇〇・・・ 株式会社〇〇〇〇 代表取締役 横浜 太郎 電話〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇	
2	設計者の住所及び氏名	□□市□□・・・ 株式会社□□□□ 代表取締役 横浜 二郎 電話□□□ (□□□) □□□□	
3	開発区域が含まれる地域の名称	〇〇区〇〇町〇丁目 123 番 1、2、3	
4	開発区域面積	2000.00 m <sup>2</sup> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">30°以上の勾配を有する法、及びその角度線により一連する法の高さを記入します。</span>	
5	法の高さ	ア 道路沿い	0.5メートル～ 0.9メートル
		イ 道路沿い以外	0.7メートル～ 1.2メートル
6	適切な植栽が行われる土地の面積	250.00 m <sup>2</sup> (開発区域面積の 12.5%)	
7	その他必要な事項	算定式を使用した場合は、その数値を記入してください。	
※	造成工事に関する事前協議願の受付年月日・番号	平成	年 月 日 第 協 号
※	横浜市開発事業の調整等に関する条例の番号	第	開計 号
※	受付処理欄		
添付図書			
1 土地利用計画図		2～5の細かな体裁については、「みどりアップ推進課」にお問い合わせください。	
2 景観形成計画平面図			
3 景観形成計画断面図			
4 景観形成植栽の計画書			
5 景観形成植栽の求積図及び求積表			

(注意) 1 ※印には記入しないでください。

2 「適切な植栽が行われる土地の面積」の数値は、「添付図書 3 景観形成植栽の計画書」における「適切な植栽が行われる土地の面積の合計」の数値とします。